

COVIDが流行の兆し すべてのシトカ人にマスクの 着用推奨

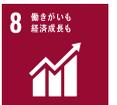


COVID感染者の急激な増加を受けて、シトカ議会は今週、緊急オペレーションセンターのリーダーであり消防署長でもあるクレイグ・ウォーレン氏とSEARHCのチーフメディカルオフィサーであるエリオット・ブルール博士から報告を受けた。ウォーレン氏とブルール氏によると、新たなピークはほとんどがワクチンを受けていない患者によるものだという。また、緊急オペレーションセンターでは、ワクチン接種の有無にかかわらず、すべてのシトカ人が公共の場でマスクを着用することを推奨している。

記事参照：All Sitkans advised to wear masks as local COVID cases hit pandemic high - Alaska Public Media (2021.7.14/Alaska Public Media)

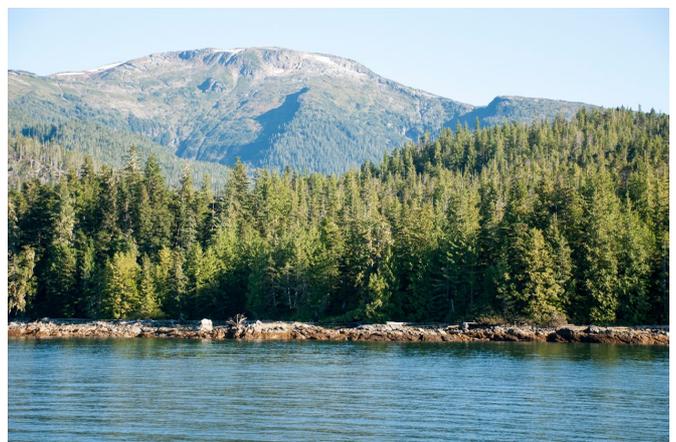
→Misty Fjords National Monument (or Misty Fjords National Monument) is a national monument and wilderness area administered by the U.S. Forest Service as part of the Tongass National Forest.

バイデン氏、トンガス材の 販売凍結へ 他分野に投資



バイデン政権は木曜日、トンガス国有林に残っている原生林の販売を凍結し、南東アラスカの他の経済分野への投資に軸足を移すことを発表した。米国農務省の声明によると、連邦政府は2,500万ドルを投資し、部族やコミュニティ、アラスカ先住民企業と協力して、この地域のプロジェクトや雇用プログラムのための技術支援を行うという。

記事参照：Biden to freeze Tongass timber sales, invest in other Southeast Alaska sectors - Alaska Public Media (2021.7.15/Alaska Public Media)



アラスカ・カナダ鉄道事業 計画が財政難で危機に



アラスカとカナダの鉄道網を結ぶ1,600マイルの鉄道を建設するという野心的な計画が保留されており、危機に瀕している。プロジェクトの副議長を務めるトレッドウェルは、170億ドルのプロジェクトについて公には語っていない。また、カルガリーを拠点とする鉄道会社の会長は、財務上の不正を指摘され他の幹部とともに退社した。

記事参照：‘Boondoggle’: Financial woes may jeopardize proposed Alaska-Canada railroad project - Alaska Public Media
(2021.7.14/Alaska Public Media)

科学者が驚いた、 北極圏での珍しい雷の嵐



先週、シベリアからアラスカ北部にかけて、3つの連続した雷雨が発生した際、気象学者たちはある変化に唖然とした。通常、北極海の空気は、特に氷に覆われているときは、稲妻の発生に必要な対流熱が不足している。しかし、気候変動によって北極が世界の他の地域よりも早く温暖化するにつれ、その状況は変わりつつある。

記事参照：Scientists were stunned by last week's rare Arctic lightning storms - ArcticToday (2021.7.19/Arctic Today)

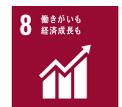
『グリーンランドはCOVIDと 共存することを学ばなければ ならない』



グリーンランドの公衆衛生担当者は、COVID-19から身を守るためには、その都度発生を食い止めるという戦略ではなく、より持続的なウイルスの存在に備えなければならないとしている。パンデミックが始まって以来、グリーンランドではいくつかの小規模な流行が発生しており、最近の感染者増加の波の前には、感染者が51人いたが、すべて回復している。しかし、7月12日以降、感染者数は再び増加し、現在は81人となっている。

記事参照：Greenland must learn to live with COVID, public health officials say - ArcticToday (2021.7.19/Arctic Today)

大型クルーズ船がケチカン を21ヶ月ぶりに訪問



2019年以来、アラスカを訪れる初の大型クルーズ船が、先週金曜日の早朝にケチカンに到着した。このクルーズ船は連邦政府が定めたテスト航海中で、アラスカのクルーズシーズンの象徴的なスタートを切った。

記事参照：‘Cruise ships are back, baby’: Alaska’s first large cruise ship in 21 months visits Ketchikan - Alaska Public Media(2021.7.15/Alaska Public Media)

グリーンランドが新たな石油探査を中止



半世紀近くもの間、石油探査に失敗し続けてきたグリーンランドの政府は、今後の探査を中止することを発表した。鉱業大臣のNaaja Nathanielsenは、「Naalakkersuisutは、石油の探査と採掘による環境への影響があまりにも大きいと判断した。石油産業の夢を実現するための資源は、他の経済活動を促進するために使用した方が良く考えている」と述べている。5月に発足した連立政権による今回の決定は、石油収入をデンマークからの政治的独立に向けた経済的自立の早道と考えていたグリーンランドにとって、大きな転換点となる。記事参照：Greenland halts new oil exploration - ArcticToday (2021.7.16/Arctic Today)



↑A Cairn Energy vessel in Greenland during the 2010 exploration season. At the time, the firm's initial promising results led many to believe a discovery was imminent. (Cairn Energy)

世界の雪氷圏が急速に縮小 新研究が示す



1979年から2016年までの間に、世界の凍土帯は年平均で約8万7,000平方キロメートル（3万3,000平方マイル）失われ、毎年凍土帯の期間は約40年の間に1週間以上縮小したことが、学術誌「Earth's Future」に掲載された新しい研究で明らかになった。この研究は、海氷、氷河氷、積雪、地表付近の凍土など、雪氷圏全体の面積減少を1つの計算にまとめた初めての研究。この減少は、気温の上昇と明らかに関連していると、研究は述べている。

記事参照：A new study shows just how quickly the world's cryosphere is shrinking - ArcticToday (2021.7.20/Arctic Today)

米国の砕氷船が、北西航路の 通行を含む航海を開始



米国沿岸警備隊のカッター「ヒーリー」が、北極海を目指し、北米一周を含む北西航路を通過する珍しい航海に出発した。沿岸警備隊によると、「ヒーリー号」は北極圏での任務を終えた後、パナマ運河を経由してシアトルに戻り、大陸一周の任務を完了する予定。

記事参照：A US icebreaker has begun a voyage that will include a Northwest Passage transit - ArcticToday (2021.7.19/Arctic Today)

